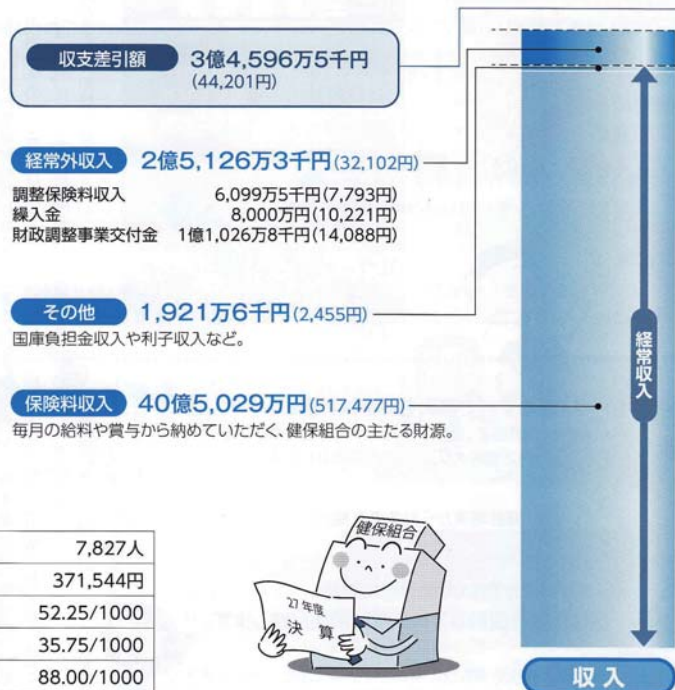


※()内は1人あたり額。

収入	43億2,076万9千円 (552,034円)	経常収入	40億6,950万6千円 (519,932円)
支出	39億7,480万4千円 (507,832円)	経常支出	39億1,282万7千円 (499,914円)
差引額	3億4,596万5千円 (44,201円)	差引額	1億5,667万9千円 (20,018円)



決算基礎数値

被保険者数	7,827人
平均標準報酬月額	371,544円
保険料率	
事業主	52.25/1000
被保険者	35.75/1000
合計	88.00/1000



平成27年度決算●介護保険

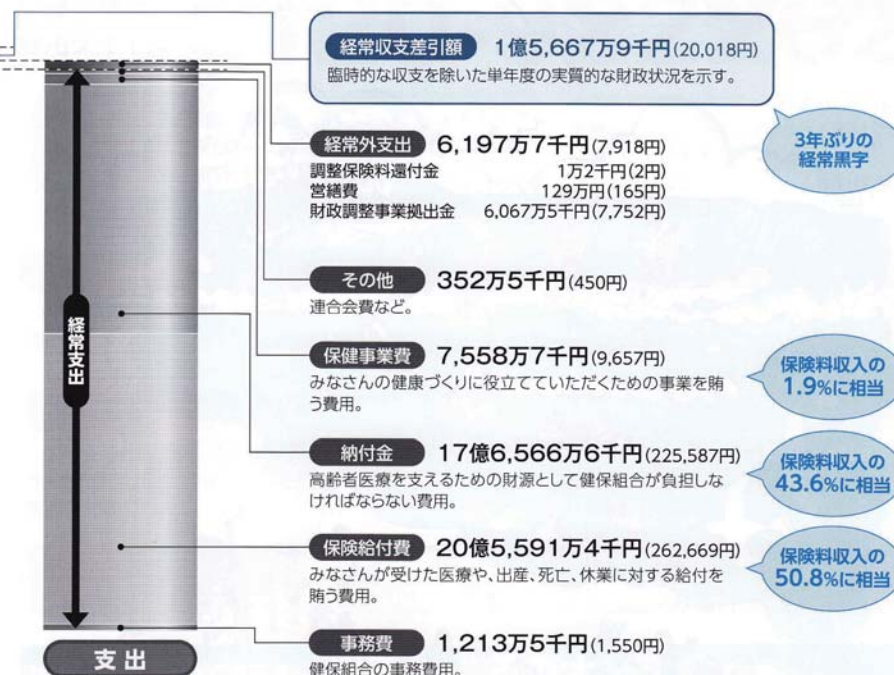
決算基礎数値

徴収対象第2号被保険者数	3,844人
平均標準報酬月額	418,143円
保険料率	
事業主	7.5/1000
被保険者	7.5/1000
合計	15.0/1000

収支差引額 897万7千円

収入	
介護保険収入	3億9,433万8千円
合計	3億9,433万8千円
支出	
介護納付金	3億7,583万4千円
介護保険料還付金	12万3千円
積立金	940万4千円
合計	3億8,536万1千円

保険料増収と納付金減少により 経常収支1億5,667万9千円の黒字 となりました



3年ぶりの
経常黒字

保険料収入の
1.9%に相当

保険料収入の
43.6%に相当

保険料収入の
50.8%に相当

決算のポイント

保険料は1億円増収

保険料収入は、被保険者数や標準報酬月額、賞与が前年度を上回ったため、前年度比1億3,015万6千円の増収となりました。

保険給付費は増加、納付金は減少

保険給付費のうち、法定給付費が前年度より増加し、総額で4億6,000万4千円の増加となりました。

また、納付金では、65から74歳の医療費の財源となる前期高齢者納付金が前年度より1億8,321万9千円減少したことなどにより、総額で2億1,059万3千円の減少となりました。

3年ぶりの経常黒字

保険料収入は増収となり、保険給付費は増加したものの納付金が大幅に減少したため、健康保険組合の実質的な財政状況を示す経常収支では1億5,667万9千円の黒字となりました。経常黒字は24年度決算以来、3年ぶりです。

なお、総収支差引では3億4,996万5千円の残金が生じたため、翌年度への繰り越しや積立金に積み立てるなどして処分しました。

重くのしかかる納付金負担

29年度に後期高齢者支援金の算出方法が全面総報酬制に移行することによる負担増が見込まれ、より厳しい財政運営を強いられることが予想されています。

当組合ではより効率的かつ効果的な事業運営に努めてまいります。当組合の事業運営にご理解とご協力をお願いします。